

意見招請コメント「意見」に対する回答

調達件名：サイバーセキュリティ対処調整センターに係る情報共有システムの運用業務

(様式2)

項	頁番号	行番号	項目	種別	意見	理由	回答
1	10	24	運用保守サービス	3	運用サービス時間に「特定日」とありますが、特定日として対応する期間(日数)を明確にしてください。	特定日として対応する日数をもとに作業費用を見積り必要があるため。また24時間対応の運用体制を計画的に確立する必要があるため。	・運用サービス時間について、以下の通り調達仕様書の該当箇所に明記いたしました。 ⇒「東京2020、東京2020オリンピック期間及びその前2週間を想定しておくこと。」
2	10	15	表 3-2 運用サービス時間	3	組織名“運用事業者”の運用サービス時間に記載ある“特定日：24時間365日”を、“特定日：24時間”へ記載変更いただきたい。	「注2」の期間と24時間365日が正しいのか、明確にしたいため。	・誤りですので、以下の通り調達仕様書の該当箇所を修正いたしました。 変更前「特定日：24時間365日」⇒変更後「特定日：24時間」
3	13	21	(7)インシデント管理の体制と役割	3	サービスマネージャの役割に「インシデントの全体管理」とありますが、NOC運用とSOC運用で各サービスマネージャを分けることは可能でしょうか。	(NOCとSOCはスキルレベルが異なり)サービスマネージャがNOCとSOCの運用を全て把握することが難しいため。	・サービスマネージャに求めるスキルレベルについては、「5.2 作業要員に求める資格等の要件」に記載しています。ご確認ください。
4	13	21	(7)インシデント管理の体制と役割	4	NOC/SOC問い合わせ窓口は、NISCからの問い合わせを一次受付し、運用担当へ展開する業務を想定していますが、窓口の担当者レベルを明確にしてください。	見直し影響するため。	・問い合わせ窓口担当者に求めるスキルレベルについては、「5.2 作業要員に求める資格等の要件」に記載しています。ご確認ください。
5	21	21	(9)付帯情報	1	キャパシティ管理の監視項目に、「データベース表領域使用率」とありますが、具体的に監視ソフトウェアの想定があれば教えてください。	データベース表領域使用率については現在弊社にて想定しているソフトウェアでは監視できないため。	・誤りです。当システムでは監視不要ですので、以下の通り調達仕様書の該当項目を削除いたしました。
6	22	1	(9)付帯情報	1	キャパシティ管理の監視項目に、「ユーザ数」とあるが具体的に何のユーザを想定しますでしょうか。またサイトに訪問した固有のユーザとは何を指しているか明確にしてください。	監視対象を明確にするため。また、見積に必要なため。	・ユーザ数等の利用状況に関する情報を監視して、システムが想定範囲内で利用されているか否かを確認できるようにしてください。以下の通り調達仕様書の該当箇所に要求条件を変更いたしました。 ⇒特定期間でサイトに訪問した、固有のユーザ数等によりシステムの利用状況について監視する。
7	27	19	d)NOC トラブル対応	3	表4-36 トラブル対応の体制と役割 に「NISC」が記載されていないが、図4-37 NOCトラブル対応の流れには「NISC」が記載されている。表とフローの違いを教えてください。	作業範囲を明確に把握したいため。	・誤りですので、以下の通り調達仕様書「表4-36 トラブル対応の体制と役割」にNISCを追加しました。 ⇒「NISCからNOC問合せ窓口に対して、検知した障害に関する問合せを行う。NOCトラブル対応の承認を行う。」
8	38	5	表 4-57 SOCセキュリティインシデント対応の作業内容	3	実施項目“緊急遮断”の概要に記載ある“インシデントの該当端末からの通信を自動的にツールにて遮断する”を、“インシデントの該当端末からの通信を遮断する。”へ記載変更いただきたい。	緊急遮断については人的判断ののち、手動にて実施したいため。	・自動遮断は必須要件ではありません。誤りですので、以下の通り調達仕様書の該当箇所を修正いたしました。 ⇒「SOC運用担当者は緊急遮断対象に該当するセキュリティインシデントの発生を検知した場合に、インシデントの該当端末からの通信を緊急遮断する。」
9	39	9	4.5) サービスレベル要件	1	b)「サービスレベル目標及びサービスレベル協定(SLA)」とありますが、サービスレベル協定(SLA)の要件を明確にしてください。また運用事業者だけでサービスレベル目標及びサービスレベル協定(SLA)を満たすことは困難なため水準を下げていただきたい。	要求水準を明確に把握したいため。	・SLAについて、以下の通り調達仕様書の該当箇所に要求条件を明記いたしました。 ⇒「サービスレベル管理として、月に一度以上サービスレベルの実績値を収集分析し必要な業務改善等を行う。保守事業者と連携して、各年度末に、実績値を基に次年度のサービスレベル要件の見直しを行う。サービスレベル未達の場合、保守事業者と連携して原因分析の上で、改善案を策定し業務改善を実施する。」
10	40	32	表4-60 納品成果物一覧	1	“月次運用報告書(SOC)”の“改善提案”とは具体的に何を指すのか教えてください。	ご報告する情報を具体化することで作業範囲を明確にしたいため。	・想定内容について、以下の通り調達仕様書の該当箇所に明記いたしました。 ⇒「運用業務に関する改善提案、課題対応状況、連絡事項等」
11	40	27	表4-60 納品成果物一覧	1	“月次運用報告書(NOC/SOC)”の納品期限“毎月月初(前月1ヵ月分の状況)”を、“翌月度内”と記載変更いただきたい。	月次運用報告書については作成に時間を要し、納品猶予をいただきたいため。	・翌月度内での報告で問題ないため、以下の通り調達仕様書の該当箇所に明記いたしました。 ⇒毎月月末までに(前月1ヵ月分の状況)
12	48	9	d)知識・能力・経験・実績	1	「他社が設計構築を行った情報システムの運用を行った実績を過去5年以内に有すること。」とご要求がありますが、本事業に参入したいため要求水準を下げていただきたい。	受託可能な事業者を制限することになるため。	・入札の門戸を極端に狭めることを避けるため、以下の通り調達仕様書の該当箇所を修正し、記載位置を後方に移動いたしました。 ⇒「他社が設計構築を行った情報システムの運用を行った実績を過去5年以内に有することが望ましい。」
13	48	12	d)知識・能力・経験・実績	1	「5000名以上が利用する、オンプレミスシステム及びクラウドサービスが混在したシステムの運用を行った実績を過去5年以内に有すること。」とご要求がありますが、本事業に参入したいため要求水準を下げていただきたい。	オンプレミスシステム及びクラウドサービスが混在したハイブリッドなシステムは官公庁や民間企業を見て事例が少なく、受託可能な事業者を制限することになるため。	・入札の門戸を極端に狭めることを避けるため、以下の通り調達仕様書の該当箇所を修正いたしました。 ⇒「5000名以上が利用する、オンプレミスシステムの運用及びクラウドサービスを利用したシステムの運用を行った実績を過去5年以内に有すること。オンプレミスシステム及びクラウドサービスが混在したシステムの運用実績を有することが望ましい。」
14	48	16	d)知識・能力・経験・実績	1	「STIX/TAXIIを利用したシステムの運用を行った実績を過去5年以内に有すること。」とご要求がありますが、本事業に参入したいため要求水準を下げていただきたい。	「STIX/TAXIIを利用したシステムの設計・開発」に関する受注案件は日本国内では希少であり、受託可能な事業者を制限することになるため。	・入札の門戸を極端に狭めることを避けるため、以下の通り調達仕様書の該当箇所を修正いたしました。 ⇒「STIX/TAXIIを利用したシステムの運用を行った実績または同等の経験を過去5年以内に有するが同等の知識を有すること。」
15					表現の整除	意見招請向けの文言が不要となったこと及び要件の重複、誤字脱字、表現の補正のため	・要件に影響を与えない表現の整除を行った。

注) 1. 種別欄には、意見の種類を以下から選択して、その番号を記載すること。

[1. 要求水準を下げる 2. 要求水準を上げる 3. 文章だけを修正する 4. その他]

2. 意見及び理由は、明確かつ簡潔に記載すること。

3. 意見の数が20を超える場合には、行及び行番号を追加すること。

調達件名：サイバーセキュリティ対処調整センターに係る情報共有システムの運用業務

項	頁番号	行番号	項目	種別	質問	理由	回答
1	34	32	表 4-50 SOC 定常作業の内容	1	作業内容「脅威情報の提供」の概要に記載ある「本システムに関する情報」とは具体的には何を指すのか教えてください。	ご報告する情報を具体化することで作業範囲を明確にしたいため。	・脅威情報の提供範囲について、以下の通り調達仕様書の該当箇所に明記いたしました。 ⇒「SOC運用担当者は本システム(ハードウェア、ソフトウェア、開発言語)に関する独自に収集した脅威情報や脆弱性情報を提供する。開発言語については、別紙1「開発言語一覧」にて入札参加者へのみ提示する。」
2	39	20	4.6 NISCの管理業務支援	1	仕様書に記載されている内容では作業見積もりが難しいため、下記をご提示してもらえないでしょうか。 ・ODB登録用シートのフォーマット ・外部セキュリティ監査の内容と想定対応時間 ・利用者満足度の調査の対象者、対象者数、調査方法(アンケート用紙、ヒヤリング、メール等)等	作業費用を見積もるのに必要な情報であるため。	・ODB登録内容について、どのような作業を想定すればよいか、以下の通り調達仕様書の該当箇所に明記いたしました。 ⇒「(7) 各データの変更管理 情報システムの運用において、開発規模の管理、ハードウェアの管理、ソフトウェアの管理、回線の管理、外部サービスの管理、施設の管理、公開ドメインの管理、取扱情報の管理、情報セキュリティ要件の管理、指標の管理の各項目についてその内容に変更が生じる作業を行ったときの、当該変更を行った項目について、システム構築事業者が登録した管理情報への反映を想定しています。 (4) 作業実績等の管理 情報システム運用の作業実績、リスク、課題及び障害事由についての報告書(月次/年次)等の登録を想定しています。」 ・外部セキュリティ監査の内容や対応時間については、必要性のレベルや状況によって変化しますので、調達時点では明示できません。その時点での状況を考慮の上、対応をお願いいたします。 ・委託範囲及び条件を、以下の通り調達仕様書の該当箇所に明記いたしました。 ⇒「(c) 利用者満足度の調査 受注者は、年1回、NISCの指示に基づき、利用者満足度の調査を実施し、完全案を検討し、NISCに報告すること。アンケート作成、結果の集計と分析、及び、レポートの作成を想定しています。 利用者へのアンケートの発出と収集は、NISCにて行う。」
3	40	33	表4-60 納品成果物一覧	1	表4-60 納品成果物一覧に記載のある報告内容は、全て網羅する必要がありますでしょうか。 ※全てがご要求事項なのか提案によるものなのか	見積に影響するため。	・報告内容に関する要件については、報告内容は、「月次運用報告書(SOC)」を除き、全て網羅する必要があります。「月次運用報告書(SOC)のプロアクティブ分析情報」が提案希望要件である旨を、調達仕様書の該当箇所に明記いたしました。
4	41	38	6. 作業の実施体制・方法に関する事項	1	作業の実施体制・方法に関する事項について、運用事業者で「サービスマネージャ」「SOC運用担当者」「SOC問合せ窓口」「NOC運用担当者」「NOC問合せ窓口」を設置するようご要求がありますが、本事業に専従という理解で正しいでしょうか。また5つの役割について一部兼務させること(例えば、SOC問合せ窓口とSOC運用担当者など)は可能でしょうか。	対応人数がサービス費用に影響するため。	5つの役割と求められる要件を満たすことができれば、兼務は許容します。
5							
6							
7							
8							
9							
10							

注) 1. 種別欄には、質問等の種類を以下から選択して、その番号を記載すること。

[1. 調達仕様書に対する質問 2. 提案依頼書に対する質問 3. その他]

2. 質問及び理由は、明確かつ簡潔に記載すること。

3. 質問の数が20を超える場合には、行及び行番号を追加すること。